

# News Release



金沢大学  
KANAZAWA  
UNIVERSITY



令和3年12月16日

各報道機関文教担当記者 殿

## 12/18 第10回世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI) サイエンスシンポジウムを開催

このたび、石川県立音楽堂において第10回世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)サイエンスシンポジウムを下記の通り開催します。

本シンポジウムは、第一線の研究者が世界から集まり、優れた研究環境ときわめて高い研究水準を誇る WPI 研究拠点の成果を広く紹介するために毎年開催しており、今年度は、金沢大学ナノ生命科学研究所(WPI-NanoLSI)(※1)が主催します。

また、午後の部においては、石川県内のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)生徒研究発表会を同時開催します。SSH指定校他生徒による口頭発表(6グループ)およびポスター発表(32グループ)を行い、各WPI研究拠点の研究者たちとディスカッションを行います。発表終了後、口頭発表の部から最優秀賞1グループ、ポスター発表の部から最優秀賞1グループ、優秀賞2グループ、奨励賞3グループを選出し、表彰します。

については、当日の取材・報道をお願いします。

**なお、取材を希望する場合は、12月18日(土)8時20分もしくは13時00分に受付をします。別紙取材申込書にご記入の上、石川県立音楽堂邦楽ホールロビー受付前にお集まりください。受付後、会場にご案内します。**

取材時は、検温の上、マスクを着用してください。また、取材記者・同行者数も最小人数となるように配慮をお願いします。

記

第10回世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)サイエンスシンポジウム

『未来へ向かう Nano World』

令和3年度石川県スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会

日時：令和3年12月18日(土)9時00分～17時30分(8時30分開場)

場所：石川県立音楽堂 邦楽ホール および 交流ホール

内容：別紙チラシのとおり

特設サイト：<https://10th-wpisymposium-nanolssi.jp/>

## 【シンポジウムの目的】

金沢大学ナノ生命科学研究所（WPI-NanoLSI）は、「未来へ向かう Nano World」をテーマとし、2021年12月18日（土）に第10回世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）サイエンスシンポジウムを開催します。

WPIサイエンスシンポジウムは、第一線の研究者が世界から集まり、優れた研究環境ときわめて高い研究水準を誇る WPI 研究拠点の成果を広く紹介するために、WPI 拠点が持ち回りで毎年開催するものです。

今年度は高校生を主な対象とし、科学技術と研究への関心・興味を励起するシンポジウムを企画しました。WPIの世界最高水準の研究を紹介し、研究の最前線の姿を知らせることに加え、研究者と高校生が直接話をする交流機会を設け、双方向性の高いシンポジウムとしました。

ナノ生命科学研究所が所在する地方都市は、大都市圏と比較して研究機関も少なく、市民が最先端の科学研究に身近に触れる機会は多くありません。しかし、ここに在住する若手人材、特に文部科学省事業のスーパーサイエンスハイスクール（以下、SSH）に指定されている高等学校の生徒には、将来、科学研究の中核的な担い手となる高度人材が潜在しており、彼らは、最先端の研究に従事する研究者と直接接する機会を強く望んでいます。

本シンポジウムでは、こうした層を主なターゲットとして開催会場に集め、WPIの多様な研究を知らせ、また交流をすることで、WPIの認知度向上を図ることとします。また併せて、全プログラムをオンラインでも配信し、全国の高校生・一般市民にもリーチします。

## 【プログラム】

午前の部では、WPIの多様な研究を知らせるために、講演を実施します。弊所の研究テーマであり、また、生命科学、材料科学、環境科学、医学・医療など幅広い研究分野の共通基盤となる横断的中核科学技術である「ナノ科学」をテーマの柱として、WPI拠点等から講師を招いて行います。また併せて、会場の高校生からの質問に答える形で、講師による座談会を行います。

午後の部では、SSH指定高校他の生徒による口頭・ポスター発表を行い、各拠点の若手研究者によるコメントや審査を通じて、研究者と高校生が研究交流をする機会を設けます。特にポスター発表では、優秀な発表を表彰して高校生を奨励することで、WPI拠点との研究交流を後々まで印象に残るものとします。

なお、令和3年度石川県スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会との合同開催となっております。

午前：講演会『未来へむかう Nano World』

### 【邦楽ホール】

- 09:00～09:10 開会挨拶
- 09:10～09:50 特別講演 ナノ医療イノベーションセンター 片岡一則先生
- 10:00～11:10 WPI拠点講演（MANA, I2CNER, NanoLSI 各拠点）
- 11:20～12:00 講演者4名による座談会（会場の高校生から質問を受け、回答する形）

**【別途昼食会場】**

12:00～13:20 昼食 / 12:00～12:45 WPI 全拠点の拠点紹介動画上映・配信

午後：WPI+高校生 研究交流

**【邦楽ホール】**

13:20～15:00 高校生による口頭発表 6グループ（泉丘，小松，七尾から各2グループ）

**【交流ホール】**

15:30～16:40 ポスターセッション 32グループ（上記3校に加え，金大附属，二水）  
並行開催 WPI 拠点広報ブース展示

**【邦楽ホール】**

16:55～17:25 講評・表彰

17:25～17:30 閉会挨拶

※1 金沢大学ナノ生命科学研究所（WPI-NanoLSI）

世界トップレベルの研究拠点形成を目指す文部科学省の世界トップレベル研究拠点プログラム採択を受けて、2017年に設立。世界最先端の走査型プローブ顕微鏡（Bio-SPM）技術を核に、生体分子を直接観察，分析，操作する技術を開発し，生命の誕生や疾患，老化などの生命現象の仕組みを根本的に理解することを目指している。このほど，同顕微鏡で，新型コロナウイルススパイクタンパク質が細胞内に侵入する瞬間の観察に成功し，ワクチンや新規治療薬の開発に新たな可能性を拓く成果として話題を集めている。

-----  
**【本件に関するお問い合わせ先】**

■広報担当

金沢大学ナノ生命科学研究所事務室

米田 洋恵（よねだ ひろえ）

TEL：076-234-4556

E-mail：nanolsi-office@adm.kanazawa-u.ac.jp

令和3年12月18日

金沢大学ナノ生命科学研究所広報担当者 宛

## 第10回 WPI サイエンスシンポジウム 取材申込書

日 時：令和3年12月18日（土）

① 8時20分から

② 13時00分から

受付場所：石川県立音楽堂 邦楽ホールロビー受付

下記の事項について、ご記入をお願いします。

報道機関名： \_\_\_\_\_

取材記者名： \_\_\_\_\_

連絡先： \_\_\_\_\_

同行者（カメラマン等）： \_\_\_\_\_

掲載・放送媒体名と予定日時： \_\_\_\_\_

※当日はマスクを着用し、感染拡大防止にご協力お願いいたします。

※全日取材される場合は、8時20分にお越し願います。

第10回 世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)  
サイエンスシンポジウム



# 未来へむかう

# NANO WORLD

2021.12.18 [sat] 9:00 - 17:30

石川県立音楽堂からライブ配信

未来のナノ分野研究を  
のぞきみよう

## 講演会『未来へむかう Nano World』

- 09:00~09:10 開会挨拶  
山崎光悦 (金沢大学長), 宇川彰 (WPI プログラムディレクター)
- 09:10~09:50 特別講演  
片岡一則 ((公財)川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンターセンター長)
- 10:00~11:10 WPI 拠点講演 1  
谷口尚 (物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトニクス研究拠点 拠点長)
- WPI 拠点講演 2  
高橋幸奈 (九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 准教授)
- WPI 拠点講演 3  
福間剛士 (金沢大学 ナノ生命科学研究所 所長)
- 11:20~12:00 座談会
- 12:00~13:20 WPI 拠点紹介動画配信

## WPI×高校生 研究交流

- 13:20~15:20 高校生による研究口頭発表
- 15:30~16:40 高校生による研究ポスター発表
- 16:55~17:25 講評・表彰
- 17:25~17:30 閉会挨拶  
福森義宏 (金沢大学 ナノ生命科学研究所 副所長)

モデレーター: 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 人材育成・情報発信部門 URA  
丸山恵氏

参加無料

高校生を中心とした  
一般向けのシンポジウムです

参加お申し込みはWEBから



<http://10th-wpisymposium-nanolsi.jp>

主催: 金沢大学ナノ生命科学研究所

共催: 日本学術振興会 / 東北大学 材料科学高等研究所 / 東京大学国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 / 京都大学高等研究院 物質-細胞統合システム拠点 / 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター / 物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトニクス研究拠点 / 九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 / 筑波大学 国際統合睡眠医学科学研究機構 / 東京工業大学 地球生命研究所 / 名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所 / 東京大学国際高等研究所 ニューロインテリジェンス国際研究機構 / 北海道大学 化学反応創成研究拠点 / 京都大学高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点 / 高エネルギー加速器研究機構 量子場計測システム国際拠点

後援: 文部科学省, 石川県教育委員会, 富山県教育委員会, 福井県教育委員会